

浜松医科大学

平成 26 年 度

数 学

注意事項

1. 問題は 3 題で、すべて必答問題です。
2. 解答はすべて別紙(解答用紙 3 枚)の該当する欄に記入しなさい。
3. 解答用紙の裏面を使用する場合は、表面の右下に「裏面に続く」と記入し、表面の下の部分を持って上にめくり記入しなさい。表面とは書く方向が反対になります。
4. 図やグラフは解答の中で重要な位置をしめます。その特徴をおさえて、ていねいに描きなさい。
5. 解答者がたどる道筋や問題解決に至る要点を明確に意識して、論述式的答案を読みやすく書きなさい。
6. 問題用紙の余白は、下書きやミスがないかどうか見直すのに十分活用しなさい。

1

(必答問題) (配点 75)

p を正の実数として、放物線 $C: y^2 = 4px$ を定める。 C の頂点を O 、焦点を F 、準線を $l: x = -p$ とする。 C 上の 2 点 $A(a, 2\sqrt{pa})$ ($a > 0$) と $B(b, -2\sqrt{pb})$ ($b > 0$) を考えるとき、以下の問いに答えよ。

- (1) A における C の接線を $l(A)$ とし、 $l(A)$ と準線 l との交点を P とする。 $l(A)$ の方程式をかいて、 P の座標を求めよ。 また、線分 AP の長さは線分 AF の長さより大きいことを示せ。
- (2) 接線 $l(A)$ が直線 AB と A において直交するとき、 b を a, p を用いて表せ。 また a が $0 < a < \infty$ の範囲内を動くとき、 b の最小値を求めよ。

以下(2)の最小値を実現する C 上の 2 点を A_0, B_0 とし、接線 $l(A_0)$ と準線 l の交点を P_0 とする。

- (3) 直線 OA_0 と直線 P_0B_0 は O において直交することを示せ。
- (4) $\triangle A_0OB_0$ の面積を S 、線分 A_0B_0 と C で囲まれた図形の面積を T とするとき、比 $S:T$ を求めよ。

2

(必答問題) (配点 75)

関数 $f(x) = \frac{3\sqrt{3}}{\sin x} - \frac{1}{\cos x}$ ($0 < |x| < \frac{\pi}{2}$) を考える。以下の問いに答えよ。

- (1) $y = f(x)$ の増減表を作成し、極値を求めよ。
- (2) $f(x)$ の第 2 次導関数 $f''(x)$ は、3 次式 $P(t) = t(2t^2 - 1)$ を用いて、
$$f''(x) = 3\sqrt{3} P\left(\frac{1}{\sin x}\right) - P\left(\frac{1}{\cos x}\right)$$
 と表されることを示せ。また、 $0 < x_1 < x_2 < \frac{\pi}{2}$ のとき $f''(x_1) > f''(x_2)$ となることを示せ。
- (3) k を定数とするとき、方程式 $f(x) = k$ の異なる実数解は何個あるか。 k の値によって分類せよ。
- (4) $y = f(x)$ の変曲点はただ 1 つ存在することを示せ。また、この変曲点が第何象限にあるか、調べよ。

3

(必答問題) (配点 50)

(1) r は自然数, n は r より大きい整数とする.

2 項係数 ${}_{k+r}C_r$ ($k = 0, 1, \dots, n - r$) の次の等式を示せ.

$$\sum_{k=0}^{n-r} {}_{k+r}C_r = {}_{n+1}C_{r+1}$$

以下整数 n ($n \geq 2$) に対し, 次の確率分布に従う確率変数 X を考える.

$$P(X = k) = \frac{{}_{k+1}C_1}{{}_{n+1}C_2} \quad (k = 0, 1, \dots, n - 1)$$

(2) X の期待値 $\mu_n = E(X)$ を求めよ. また, $P(X \geq m) \geq \frac{1}{2}$ を満たす最大の整数 m を M_n とするとき, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{M_n}{\mu_n}$ を求めよ.